

2月下旬よりも3月にかけての降雪が例年よりも多く、雪かきに追われている札幌です。今年も2月4日～11日にかけて『さっぽろ雪まつり』が開催されました。

大通公園1～12丁目に掛けて、多数の雪像と北海道グルメの屋台が出店されていました。土曜日の15時頃に雪まつりへ行ってみたいところ、今回はコロナ禍前に戻ったような人の多さで、中国や韓国など海外からの観光客が目につきました。三回ほど外国人観光客の方から「かに本家はどこですか」と聞かれ、やはりみんな蟹は好きなんだと再認識しました。

今回の大雪像で人気なのは、4丁目のゴールデンカムイと8丁目の旧札幌停車場でした。特に旧札幌停車場ではプロジェクションマッピングが投影されており、ノスタルジックな姿に魅入ってしまいました。3丁目と9丁目の市民の広場では、市民グループが雪像を制作し、毎年人気投票を行っているのですが、私も一度作ってみたいと思っています。

昨年の雪まつりでは感染予防のため、飲食ブースがありませんでしたが、今年は全面開催でいつもの雪まつりが戻り、見て・食べて・飲んでと最高でした。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

うらかな春の日差しに誘われるかのように、千葉にある『マザー牧場』へ行ってきました。ちょうど菜の花が満開を迎えたいい時期でした。広大な敷地や斜面に咲き広がる菜の花は、このうえなく美しく圧巻の景色でした。

菜の花には6つの花言葉があります。『快活』、『明るい』、『元気いっぱい』、『小さな幸せ』、『財産』、『競争』です。食べることで元気をもらえ、明るくきれいな花色は幸せを感じられます。群生して咲く姿は競い合っているように見えますが、お互い高め合って美しさを際立たせ、太陽の日差しでよりきらきらと輝いています。

今年に入って明るいニュースが少ないような気がしますが、季節ごとに旬のものをいただき、きれいなものや美しい景色を見に行き、よい音色を聞き、よい空間で過ごす時間をつくり、適度な運動でからだのバランスを保つように心掛けています。このようにして整わせ、今年も心身ともに健康に過ごしていきたいと思っています。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



カモフラージュは、背景や周囲の物体に紛れ、身を隠すために軍事や日常生活でよく使用されています。公共エリアは常に照明がしっかり整備されています。この照明の電気配線には、すべての配線を保護するための鉄製の配電ボックスが必要です。

有名なフラトンホテルの向かい側には、背後の木々や茂みを模して、薄緑と濃緑の茂みが描かれた配電ボックスがあります。配電ボックスの形ははっきり見えますが、周囲に溶け込むようにカモフラージュしたアイデアが良いと思います。

公共スペースを美化し、人間味を与えるためにアートを活用したことが高く評価されています。このスペースを利用している沢山の方が、気持ちよく利用できます。



KIO(シンガポール)(E.Wong)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は岐阜県八百津町のお肉屋さんを紹介いたします。

お肉屋さんの名前は『肉の御嵩屋』(創業昭和元年)というお店です。場所は岐阜県可児市のお隣、八百津町にあります。なぜお肉屋さんを紹介するの?という声も聞かれそうですが、この店の人気商品を紹介したかったからです。

その人気商品というのが、『炭火焼豚』です。内容的には煮豚を炭火で炙ったものです。こだわりを持って作られている商品で、豚肉はもちろん国産で、炙るのに使用する炭も備長炭などではなく、原木を指定し地元の炭焼き職人によって作られたものを使用しています。また醤油についても地元の味噌平醸造に特注で作らせたものを使用するこだわりようです。

私も実際に食べてみましたが、非常に柔らかく炭の香りが残りたいへん美味しい焼豚です。味付けは濃いめで、おつまみにも良さそうです。

私は店舗で購入しましたが、ネット販売や東京・名古屋・福岡など各地の百貨店の催事に出店することもあるようなので、皆様も炭火焼豚を味わってみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

今年は冬と言っても暖かかったり、突然寒くなったり、体調管理が大変でしたね。

さて先月にはなりますが、2月と言えば梅の季節。今回は『大阪城の梅林』をご紹介します。この梅林は大阪城の東側、内堀と外堀の間にあります。

入り口前の坂では梅林全体を見下ろす形になり、木の多さがよくわかります。ただ、花をつけていない木もあり、満開ではないのかな?と思いましたが、配られているパンフレットに答えが載っていました。

ここには105品種、1,245本の梅の木があり、早咲き、中咲き、遅咲きと品種が多いため満開シーズンは無いとの事。その代わり1月から3月まで楽しめるようです。納得。白やピンク、かなり赤い花まで色とりどり。大阪の梅の標本木『白加賀』もここにあり、基準となっています。

シーズン中のみ営業している梅林ローソンでは、梅茶をはじめ、梅関連のお土産も数多く販売。桜も良いですが、梅も季節感があって良いですね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

今回は、福岡市の西公園の展望台で『西公園の宇宙人』と呼ばれるおじいさんの作るハンバーガーをご紹介しますと思います。名前は『今屋のハンバーガー』。テレビやSNSでも評判のお店です。

キッチンカーの前には「全国3位に入りました。」と書かれた大きな立て看板。到着時には開店直後にも関わらず、すでに50人以上の行列ができる人気店です。私自身「50人くらいなら待ち時間は1時間くらいかな?」と思っていたのですが、これが待てど暮らせど全く進みません。予想の1時間が経っても、10人くらいしか減っていないことにびっくり!!

当日は気温が低かったこともあり、並んでいた方々もあまりの待ち時間にどんどん離脱されていきます。私の横では一緒に並んでいたお嫁様が段々とご機嫌斜めとなっていき、陰湿なムードのまま待つこと4時間。やっとお目当ての『フランクエッグチーズ』を買うことができました(汗)。

待望のホットドッグの中身は、炒めたキャベツにニンニクの効いたひき肉、目玉焼きにチーズとフランクフルト、ボリューム満点でとても美味しいです。また、作る工程を見ていたのですが、オープンでコッペパンを2回焼き上げるので、一つのホットドッグが出来上がるのに約10分~15分は掛かる計算です。この味を出すために一つ一つ丹念に作っているのだと改めて納得しました。

こちらの今屋のハンバーガーですが、兵庫県の加西市、静岡県の富士市、東京都の渋谷区にもお弟子さんがお店をオープンされているようです。お近くにお越しの際は、一度ご賞味下さい。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

先月の連休、久しぶりに家内と一緒に二人旅行でジョグジャカルタまで車で行きました。距離は400km程。車で行くと高速道路を使って、休憩なしで約6時間かかります。

インドネシアは全38州ありますが、ジョグジャカルタは独立に大きく貢献した功績で、特別州として扱われています。昔、インドネシアにはたくさんの王国がありました。インドネシア独立後、その王国は統一されましたが、ジョグジャカルタだけは、インドネシア国内で唯一王国として認められています。そのためジョグジャカルタの知事は他の州と違い、選挙ではなく世襲で知事となります。

また、ジョグジャカルタには有名なポロブドウール寺院があり、旅行者が沢山訪れます。家内と一緒に車で長距離旅行することは減多になく、途中で休憩して友達のおすすめのレストランで食事するのはとても楽しかったです。ジャカルタを朝8時に出発し、ジョグジャカルタに17時頃到着した9時間の車旅でした。

帰りは住民たちがやっている屋台で、適当に食べたり飲んだりしました。とても安くジャカルタで食べると300~400円はしますが、100円程でお腹がいっぱいになりました。

今回の連休は、ディエン高原に家内と車旅に行く予定をしていて、楽しみにしています。ディエン高原は標高が高く、気温が一年中約10℃とインドネシア人にとっては涼しい、いやあ寒いぐらいです。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

~体操界の国民的英雄~

ちょっと『ナイキ』に似ていますが、Lの字を基調にしたデザイン、これは中国のスポーツ用品ブランド『Li-ning(李宁)』のロゴマークです。15年以上前に初めて目にした時はそのデザインに首をかしげましたが、今や中国のトップブランドです。創業者、李宁さんの名前がそのまま会社名になっています。

李宁会長は1963年生まれ、ロサンゼルス五輪の体操金メダリストで、中国では体操界の国民的英雄です。2008年の北京五輪では、最終聖火ランナーとして空中ワイヤーで競技場内を舞い、最終点火を務めて話題になりました。

最近、中国のスポーツブランドがホットです。ランニング好きの私は、

マラソン大会のスタート待ち時間に周囲の選手のシューズを観察するのが楽しみの一つです。日本ブランド、欧米ブランド、さらに中国ブランドのシューズを履いた選手も多く、見ていて飽きません。私はアシックス派なのですが、中国ではアディダスがシューズに限らず大人気です。

ところが、昨今では『Li-ning』や『Anta(安踏)』、『特步(Xtep)』などの国産ブランドが欧米ブランドを凌駕するほどに成長しています。价格的優位性もありますが、デザインも以前に比べ、カッコよくなっています。スポーツ愛好者やスポーツ施設の増加も追い風要因になっています。私も一足買って今度の大会で履いてみます。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

先日、NFLの第58回決勝戦スーパーボウルがネバダ州のラスベガスで行われました。日本では時差の影響で月曜日の朝に試合があったため、ライブで観戦された方はあまり多く無いかもしれませんが…。

結果はおそらくご存じの通り、AFC所属のカンザスシティ・チーフスがNFC所属のサンフランシスコ・49ersを延長戦の末に25-22で逆転勝ち。二年連続4度目の制覇を果たしました。

驚くことに今年のスーパーボウルは歴代最多の視聴者数を記録し、全米で1億2千万人以上が視聴したそうです。これは1969年の月面着陸中継に次ぐ記録となりました。単純に試合観戦のために視聴している人が多いのは当たり前ですが、それ以外にもハーフタイムショーを楽しみにしている人や中継の合間に放送されるCM目的でチャンネルを合わせていた人もかなりの数いたようです。話題となるCMが集まる理由は簡単で、これだけ多くの視聴者を集める番組で自社の商品やサービスを宣伝することは、最も効果的なマーケティングだと考えられているからです。因みに今年の放映料は30秒間でなんと10億円以上だそうです。

さらに今年もう一つ大注目されたのは、チーフスのケルシー選手の交際相手で、東京からプライベートジェットで帰国し応援に駆けつけたテイラー・スウィフトの姿でした。

数日後のニュースでは、スーパーボウルの翌日をアメリカの祝日にすべきだという多数の意見により、検討を開始したと報道されていました。そのわけは、多くの労働者が仮病や嘘の理由をついてしまうスーパーボウル症に感染し、会社を欠勤してしまうからだそうです。

KGS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

昨年、オランダでは合計9,968台の大型EV車両が登録されました。新規登録における大型EVの市場シェアは、2023年に14.4%を占めており、2022年と比較して80%の増加となりました。この増加は主にディーゼル車の減少によるものです。

しかしガソリン車、ハイブリッド車、EV車と比較すると現状は依然としてディーゼル車の登録数が多い状況です。2022年は合計56,410台が登録、市場シェアが81.4%に。2023年には17.1%増加した69,293台が登録されています。現在の大型車両総台数は110万台以上ですが、そのうち100万台強がディーゼル車です。

排ガス規制の期限が迫っていることもあり、更なる大型EV車の増加が見込まれています。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)